

介護施設は **10** 事業所
健康に長生きしたいね



スポーツ施設は **8** か所
幅広い世代が利用できる



医療機関は **29** か所
もしもの時も安心



人口10万人当たり
医師・看護師数
県内第 **1** 位！



令和6年は **321** 人が
二十歳となりました
(R6.9月現在)



6 か所の学童保育
放課後も楽しく
過ごせる！



8 保育所は
か所あるよ



ずっと
輝く

毛呂山ぐらし

毛呂山町は人の誕生から老後まで切れ目のないライフステージをサポート。子育て支援、教育、医療、福祉などが充実し、住民一人ひとり、誰もが安心して暮らせる町を目指しています。

「健幸づくりのまち もろやま」をめざして

「健幸づくりのまち もろやま」は住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせるまちづくりを目指す取り組みです。「健幸」という言葉は、「健康」と「幸せ」の両方が備わり、子どもから高齢者まで世代や障害の有無に関わらず、生きがいを感じて自分らしく日常生活を送ることができると定義しています。

そこで、毛呂山町では「健幸づくりのまち もろやま」の実現に向け、三つの基本方針（健康づくり・生きがいづくり・ひとづくり）を示しています。これらの基本方針には、これまで町が力を入れてきた医療・福祉・子育て・教育での取り組みをさらに発展させ、より確実に

健幸づくりへとつなげていくことが求められています。さらに基本方針に基づく事業は、町の強みである埼玉医科大学グループやハピネス館との連携により推進を図ります。町だけでなく医療・福祉施設にも協力をあおぎ、医学的知見を活かした効率的な取り組みを実施していきます。

毛呂山町は様々な団体との連携や住民との協働により、健幸づくりのまちの達成に向けて邁進しています。また、住民一人ひとりが健康に対する意識を持ち、行動を変えていくことが必要不可欠です。町一丸となって実現を目指していきます。

"Health and Wellness Town, Moroyama" is an initiative that aims to create a town where each and every resident can live a health and wellness life. Moroyama Town has set out three basic policies (health promotion, creating a sense of purpose in life, and human resource development) with the aim of creating Health and Wellness Town, Moroyama. These basic policies call for the further development of the initiatives the town has been focusing on in the areas of health care, welfare, childcare, and education, and for these to be linked more securely to the creation of health and wellness. Furthermore, projects based on these basic policies will be promoted in cooperation with the Saitama Medical University Group, and Moro Happiness, which are strengths of the town.

Moroyama Town is working hard to become a town that promotes health and wellness through collaboration and cooperation with various organizations. It is also essential that each resident has an awareness of health and changes their behavior.

《ひとづくり》

住民一人ひとりが健康で心の豊かさや幸せを実感できるよう、あらゆる機会を通じて健幸意識の啓発を進めます。また、少子化対策の一環として、妊娠・出産・子育て、それぞれに応じた子育て支援の実施により、子どもたちの健やかな成長を支えます。そして未来を担う子どもたちに対し、健幸についての理解を深め、思いやりや生きる力とともに、ふるさとである毛呂山町への郷土愛を深め、将来の定住促進を目指します。



子育てに対する悩みを共有したり、役立つ情報を学べる子育て支援センター



小学3年生以上を対象としたプログラミング教室



町の歴史や民俗について分かりやすく解説する講座



次々と素晴らしいパフォーマンスが披露された「毛呂山芸能音楽祭」

《生きがいづくり》

健康寿命の延伸には身体の健康だけでなく、生きる楽しみがあり、日々が充実していることによる心の健康維持をサポートしていくことが重要です。そのために、人と人のつながりや地域コミュニティの活性化を図る取り組みを進めています。また、生涯学習事業の充実や高齢者の通いの場の確保などの取り組みにより、世代や障害の有無に関わらず、住民一人ひとりが生きがいを持ち、心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

《健康づくり》

埼玉医科大学グループと連携した健幸ウォーキング事業の実施や各種スポーツなど運動機会を提供することで、住民の健康増進を図ります。気軽に運動が続けられるよう、ウォーキング環境の整備や各種軽スポーツ大会・教室等を開催し、身体を動かす楽しさやスポーツに親しむ機会を創出します。また、生活習慣病予防や介護予防事業により、元気な高齢者を増やす取り組みを進め、健康寿命の延伸を目指します。



おもりを使って楽しみながら介護予防に取り組む「ゆずっこ元気体操」

健康生きがいづくりをサポート。明るく開放的な雰囲気ハピネス館



行政

町では第六次毛呂山町総合振興計画に基づき、「みんなでつくる 住みやすいまち 住み続けたいまち もろやま」を将来像に掲げ、子どもたちが健やかに育ち、すべての世代が健康で安全に安心して暮らせる賑わいと活力のあるまちを目指しています。

住民と行政による協働でまちづくりをすすめる、積極的な情報発信等に努め、創意と工夫を凝らした行政運営に邁進していきます。また、DXの推進により、効率的な行政運営を行い、住民満足度の向上を図ります。



毛呂山町役場

議会

毛呂山町議会は4年に1度の選挙で選出された、町民の代表である14人の議員で構成されています。年4回開かれる定例会議と必要に応じて招集される臨時議会によって、町政運営の方針や予算、条例の制定・改廃などの案件を審議。一般質問などの機会を得て、町政への提言・提案を行うなど、常に町民の声に耳を傾け、民意を反映させた方針を決定します。



毛呂山町議会